

長期戦略:テーマ 「質の高い就労」の実現」

提出日 2022年 8月 24日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	森キャリアセンター長 (キャリアセンター)	実施計画の 担当部署	キャリアセンター
-----------------------	--------------------------	---------------	----------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(2)-② 各学部の独自指標の設定	2019年度	2024年度	必要⇒【選択型】(学部・研究科が任意で取組みを選択)	不要
内容 ■本長期戦略では、『質の高い就労』の実現』をテーマに、『就職率』『内定先の満足度』『各学部設定の独自指標』『有名400社への実就職率』『IPOの人数』『グローバル企業就職者比率』『一部上場企業社長の輩出人数』を指標とし、各フェーズ・年度における目標値を定めた。これを達成するための実施施策は、『高い『就職率』維持のための各種施策の実施』『高い『内定先の満足度』維持のための各種施策の実施』『有名400社への実就職率』向上のための各種施策の実施』『グローバル企業への就職者比率』向上のための各種施策の実施』そして、『各学部の独自指標』の設定』『アントレプレナー養成のための各種施策の実施』『AIを活用したキャリア支援』をあげている。 ■本帳票は、これらの内、『各学部の独自指標』の設定』について記載する。 ■各学部はそれぞれ特色があり、人材養成像も各学部で異なる。従って、『質の高い就労』を実現するための大学全体の実施計画(指標)とは別に、独自の指標を持つ必要のある学部がある。その際に独自指標を設定する。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	【理工学部】理工学研究科 博士課程前期課程への進学率	理工学部から理工学研究科博士課程前期課程への進学率 ※カリキュラム改編を伴い効果測定まで時間を要することから以下記述の2022年度までの指標設定とする。		
指標2	【理工学研究科】前期課程修了 者の研究開発職への就職率	前期課程修了者の研究開発職への就職率 ※研究開発職の分類等の現状調査等に時間を要することから以下記述の2022年度までの指標設定とする。		
指標3	【建築学部】本学部卒業生の 一級建築士の合格者数	建築学部卒業生の一級建築士の毎年の合格者数 (累計ではない)		
指標4	【建築学部】本学部卒業時の 一級建築士の受験資格者数	建築学部生卒業時の一級建築士の毎年の受験資格者数 (累計ではない)		

目標1<指標1>【理工学部】理工学研究科博士課程前期課程への進学率

※実績:2019、2020年度は理工学部、2021年度以降はキャリアセンターで算出する。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	—	—	50%以上	55%以上	55%以上	55%以上
実績	40.52% (2019/4 大学院入学者)	36.93% (2020/4 大学院入学者)	38.1% (2021/4 大学院入学者)	40.9% (2022/4 大学院入学者)	—	—

目標2<指標2>【理工学研究科】前期課程修了者の研究開発職への就職率

※実績:2019年度は理工学部、2020年度以降はキャリアセンターで算出する。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	—	—	30%以上	50%以上	50%以上	50%以上
実績	49.5% (アンケート回答者のみ)	55.4%	46.2%			

目標3<指標3>【建築学部】本学部卒業生の一級建築士の合格者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	—	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—	—

目標4<指標4>【建築学部】本学部卒業時の一級建築士の受験資格者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	—	—	—	—	—	120
実績	—	—	—	—	—	

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
「質の高い就労」を表す独自指標の設定	策定段階	・各学部において指標・目標の設定	・各学部において指標・目標の進捗管理	・各学部において指標・目標の進捗管理	・各学部において指標・目標の進捗管理	・各学部において指標・目標の進捗管理
	2023 年 3 月末段階	・4月に指標・目標の設定依頼、6月とりまとめ予定	・6月に指標・目標の設定依頼。	・6月に指標・目標の設定依頼。	・指標・目標の設定依頼。	・指標・目標の設定依頼。
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階	・各学部において指標・目標の進捗管理 ・各学部において指標・目標の検証・再設定	・各学部において指標・目標の進捗管理	・各学部において指標・目標の進捗管理	・各学部において指標・目標の進捗管理 ・各学部において指標・目標の検証・再設定	
	2023 年 3 月末段階	・指標・目標の設定依頼。				
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	策定段階					
	2023 年 3 月末段階					
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階					
	2023 年 3 月末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	2019年度第1回キャリアセンター委員会において、学部・研究科へ独自目標・指標の設定依頼を行った。その結果、理工学部から独自目標・指標を設定する旨の回答を得、第3回キャリアセンター委員会での承認を経て、学院集中審議および学院総合企画会議で承認された。
2020年度	2020年度第3回キャリアセンター委員会において、学部・研究科へ独自目標・指標の設定依頼を行ったが、学部・研究科から新たな設定の申し出はなかった。理工学部からは、進学率および修了生へのアンケートに基づいた研究開発職の就職率について実績報告があった。
2021年度	2021年度第3回キャリアセンター委員会において、学部・研究科へ独自目標・指標の設定依頼を行ったが、学部・研究科から新たな設定の申し出はなかった。
2022年度	
2023年度	
2024年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019年度	指標・目標の設定依頼は2019年4月より開始し、6月7日に締め切ったが、理工学部・理工学研究科以外は、独自指標として設定する学部・研究科はなかった。
2020年度	指標・目標の設定依頼は2020年6月に行ったが、新規に設定する学部・研究科はなかった。
2021年度	課題は、理工系学部・研究科以外に独自目標・指標を設定する学部・研究科はない状況であり、フェーズⅠの課題として、総合企画部とのヒアリングでも報告したが、フェーズⅡにおいても実施計画を継続するとの回答であった。
2022年度	建築学部へ目標・指標設定を検討依頼する予定である。
2023年度	
2024年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	—
2022 年度	—
2023 年度	
2024 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019～2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・理工学部以外の学部からの設定ができていない。 ・質の高い就労を図る学部ごとの指標設定が必要であり、学部独自 KPI を定める「中期計画総括シート」と連動しながら進めていく必要がある。 	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし(引き続き学部独自指標の検討を進める)

【フェーズ II (2022～2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	